



# 大地の実り

水戸市立下大野小学校  
学校便り 第6号  
平成28年6月6日

## 心震えた、大運動会!

5月28日(土)、本校の大運動会が、たくさんの地域の方々やご家族の方々をお迎えし、にぎやかに行われました。「一人じゃない 仲間を信じて 優勝だ!」のスローガンのように、この日に至るまでの子どもたちの自主練習は、実に熱がこもっていました。当日は白組の勝ちでしたが、練習の時から、純粋に純粋に必死で頑張る姿に、心打たれた運動会でした。6年生のリーダーシップは、見事でした。子どもたちの頑張りに、勝敗はありません。残ったのは、感動です。子どもたちへのご声援、ありがとうございました。朝早くから、また終了後も何かとお手伝いいただいた保護者の皆様にも、心より感謝申し上げます。



## 楽しかった運動会

6年 田中 宏明

今年の運動会は、小学生最後の運動会で、寂しい気持ちもあったけれど、とても楽しい運動会でした。それは、1年生から6年生までのみんなが、本気で団結したからだと思います。僕はかけ足が不得意でおそかったけれど、最後までがんばれました。「夢のかけ橋」では上を歩く歩夢君が落ちないように、丈夫な馬になるように力を入れてがんばりました。応援合戦では、大太鼓をやりました。みんなの応援に合わせて、大太鼓を力いっぱい鳴らしました。僕は白組で赤組に勝ちましたが、どちらの組にとっても、よい運動会になったと思います。

## 運動会で何を変えることができたか

6年 久野 穂乃花

私が運動会で変えられたことは自分の心です。運動会の応援合戦や個人種目など様々な種目がある中で、特に「夢のかけ橋」で火が付きました。

「夢のかけ橋」の練習の1日目、誰が上に乗るかを決め、赤組と練習試合をした時、ぼろ負けしました。その時の自分の心は、暗く沈んでいました。赤組に勝つために、中休みや昼休みを使って練習を何度も何度も繰り返しががんばりました。

2回目の試合は、何とか勝つことができました。心はだんだんと明るくなり元気が湧いてきました。

私は「夢のかけ橋」で一つ気付いたことがあります。それは、勝ったら自分は変わらないということです。1回目に負けたから、勝ちたいと思ったんだと思います。これからも負けたり、悔しいと思ったりすることはたくさんあると思いますが、そんな時は努力して自分の心を明るくしていきたいと思いました。

## 運動会で変わったこと

6年 雲井 彩乃

私は、小学校最後の運動会で変わったことがあります。

私は、人がたくさんいる前では、あまりダンスをしたり、大声を出したりしなかったけれど、今年の運動会では前に出て、ダンスをしながら歌ったり、大きな声を出したりすることができました。「夢のかけ橋」もがんばりました。赤組は練習試合で負けていたのですごく練習をしました。昼休みに、5年生の赤組といっしょに練習もしました。本番では負けてしまったけれど、今までで1番上手にできたと思います。大玉送りもがんばりました。私は1年生をサポートすることになって少し不安でした。でも上手にサポートできてよかったです。ちょっとの差で負けてしまったけれど、楽しかったです。

結果はすごく残念でくやしかったけれど、私にとって最高の小学校最後の運動会でした。

# お知らせ



昭和52年度卒業



昭和40年度卒業



昭和50年度卒業

いよいよ校舎改築の工事が始まります。プレハブ校舎建築が7月頃から進行し、11月からは、そこで過ごすこととなります。ついては、卒業記念の作品や寄贈物を取り壊さなければならないものも出てきました。とりあえず、校舎南側のビオトープとその周辺のコンクリート製の顔のはめ込まれた作品群です。写真等に収めたい場合は、学校の方までご連絡ください。なお、ビオトープは昭和40年度卒業生の皆さんからの寄贈物で、保護者代表として「宮崎正男様、菊池嘉衛門様、荻谷水佐男様、荻谷富男様、清水信様」のお名前があります。ご本人様、また卒業生の皆さまにご了解いただくと幸いです。

問い合わせ先:水戸市立下大野小学校 教頭 鈴木 稔 269-2003

